

上野原市過疎地域持続的発展市町村計画（案）の変更に係るパブリック・コメント結果

No.	ご意見の該当箇所	意見内容	市の考え
1	計画（案）全般について	<p>今回の計画案は、総論と状況分析は書かれてるが、各項目で抜本的な対策、具体的な対応が少ないので、令和8年度の総括ができないのではと危惧します。下記に意見を書きました。</p> <p>1. 市が豊かになり発展していくには、市の税制を増やす必要があります。</p> <p>①上野原駅前を、市が計画をもって開発して、外部からの移住者を増やす。アパートを建て、1Fは保育園、幼稚園等にして子育て世代を呼び込む。それには、光ケーブルが必須です。</p> <p>②ふるさと納税で、上野原独自の製品を探索する。（伏流水、西原の水等も）</p> <p>③大月との共同でも、20号線沿いに「道の駅」または「川の駅」を作り、収入と雇用を増やす。</p> <p>④観光客を増やすには八重山、桂川、廃校の活用等もあるが、駅近くにホテルを建て旅行者を市内に留めておくことも。また、地域活性化には、上野原市の特徴である、工業団地、帝京科学大学の市民への広報活動からコラボ活動してメリットを出していければ。また、下水処理から出る汚泥を肥料として活用する市がでてきてるので、この取り組みもあるのでは。その他では、「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた項目がありませんが？</p>	<p>本計画は、上野原市の概況などの「基本的な事項」と、各持続的発展施策区分の「（１）現況と問題点」、「（２）その対策」、「（３）計画」、「（４）公共施設等総合管理計画等との整合」で基本的に構成され、その中の「（３）計画」に過疎対策としての事業計画の見込みのある具体的な事業を記載しています。</p> <p>そのため、ご意見のあった事業は、具体的な事業計画の見込みが無いため、今回の計画の変更に記載することはできませんが、本計画に事業の記載が無い事業を実施しないということではなく、今後の事業計画に合わせて計画の見直しを必要に応じて実施していきますので、いただいたご意見につきましても今後の事業計画検討の参考にさせていただきます。</p>